

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	地域資源を生かした健康づくりの推進
主管部局	健康未来部
主管課	健康増進課
関係課	健康都市スポーツ推進課、健康増進課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	健康都市として蓄積してきた専門的な知識や施設、市民の健康に対する高い意識などの資源を生かしながら、全ての市民が主体的に健康づくりに取り組むことができる環境を整えることで、健康寿命を延ばし、QOL（生活の質）を向上させるまちになっています。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	135,226	0
(2)事業費	881,159	21,834
フルコスト（歳出合計）	1,016,385	21,834
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	151,992	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	53,172	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	134,036	12,230
(5)一般財源（市税収入など）	541,959	9,604
歳入合計	881,159	21,834

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	健康寿命（現状値：男性 79.64年、女性 83.52年、平均 81.58年）										単位	年	
											現状値	81.6	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
実績値	0.1	0.0	△0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班」が示す「健康寿命の算定方法の指針」により算出した平均寿命と健康寿命について、当該年度と現状値の差（伸び）を実績とする。算定式は「（当該年度の健康寿命-現状値の健康寿命（81.58年））-（当該年度の平均寿命-現状値の平均寿命（84.21年））」とし、男女の平均値を入力する。												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	平均寿命・健康寿命ともに計画策定時（H30）から延伸しています。前年度に比べ、男性は平均寿命の伸び（+0.7）が健康寿命の伸び（+0.6）を上回り、悪化となりました。女性は平均寿命の伸び（-0.1）が健康寿命の伸び（+0.1）を下回り改善傾向にあります。												

有効性指標 2

指標名	新規要介護認定者の平均年齢										単位	歳	
											現状値	79.1	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	79.2	79.2	79.3	79.3	79.4	79.5	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0		
実績値	79.2	79.0	80.4	80.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	新規要介護認定を受けた人の平均年齢（知多北部広域連合から提供される数値）												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新規要介護認定者の平均年齢は、3年連続で目標を達成しました。												

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

有効性指標 3

指標名	「日頃から健康づくりに取り組んでいる」市民の割合										単位	%
											現状値	66.7
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	67.0	67.0	69.0	69.0	71.0	71.0	73.0	73.0	75.0	75.0	75.0	
実績値	0.0	66.0	0.0	64.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「日頃から健康づくりに取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	「日頃から健康づくりに取り組んでいる」市民の割合は、悪化しました。年代別にみると70歳代及び80歳以上を除く全ての年代で低下しており、特に10歳代、20歳代及び50歳代で5ポイント以上低下しました。新型コロナウイルスの影響も考えられますが、若い世代への健康づくり意識の啓発が必要です。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
健康づくり推進事業	健康増進課	25,344 (25,344)	指標名	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合		妥当性	B	
			単年度計画値	59.0		有効性	B	
			単年度実績値	52.9				
			単年度達成率	89.7%				
			最終目標に対する達成率	81.4%		効率性	B	
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 健康づくりを推進する上で、生活に運動を取り入れる人や朝食で野菜を食べる人の割合を増やすことが課題です。本人が意識することなく健康づくりに取り組むことができる環境づくりを意味する「0次予防」の視点を持って、事業内容の見直しや新たな啓発機会の創出を行います。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
母子健康診査事業	健康増進課	144,413 (144,413)	指標名	3歳児健診受診率		妥当性	A	
			単年度計画値	100.0		有効性	A	
			単年度実績値	98.0				
			単年度達成率	98.0%				
			最終目標に対する達成率	98.0%		効率性	A	
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 受診者の負担を軽減するために、健診の実施内容について見直し、待ち時間が短くなるように工夫していきます。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
成人健康診査事業	健康増進課	219,268 (219,268)	指標名	特定健康診査受診率		妥当性	A	
			単年度計画値	60.0		有効性	A	
			単年度実績値	60.6				
			単年度達成率	101.0%				
			最終目標に対する達成率	101.0%		効率性	A	
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 今後も特定健康診査及びがん検診等について、市が実施していく必要があります。								

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名		妥当性	
成人保健指導事業	健康増進課	8,412 (8,412)	指標名	ゲートキーパー養成研修延べ受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	520.0	有効性	B
			単年度実績値	642.0		
			単年度達成率	123.5%		
			最終目標に対する達成率	91.7%	効率性	B
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 本市の自死の現状やゲートキーパーの役割を全庁的に共有し、庁内連携と総合的な施策推進につなげていきます。						
特定健康診査等事業	保険医療課	65,426 (65,426)	指標名	特定健康診査受診率	妥当性	A
			単年度計画値	60.0	有効性	A
			単年度実績値	60.4		
			単年度達成率	100.7%		
			最終目標に対する達成率	100.7%	効率性	A
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 被保険者の健康増進のため、特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率の向上に努めます。						
介護予防事業	健康増進課	65,214 (65,214)	指標名	健康長寿塾参加者数	妥当性	A
			単年度計画値	5,460.0	有効性	A
			単年度実績値	6,404.0		
			単年度達成率	117.3%		
			最終目標に対する達成率	117.3%	効率性	A
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 糖尿病性腎症重症化予防事業の75歳～80歳で実施していましたが、より効果が期待できる75歳以上の若い層で実施します。健康長寿塾認知症予防強化コースを次年度より大府校、長草校で実施します。						
感染症予防事業	健康増進課	348,178 (348,178)	指標名	麻しん風しん（MR）第1期接種率	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	91.4		
			単年度達成率	91.4%		
			最終目標に対する達成率	91.4%	効率性	A
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 医療機関と連携し、予防接種を効率よく実施していけるように努めていきます。						

評価結果の公表

施策名 地域資源を生かした健康づくりの推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	接種率	妥当性	A
新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康増進課	165,284 (165,284)	指標名	接種率	妥当性	A
			単年度計画値	30.0	有効性	A
			単年度実績値	44.7	効率性	A
			単年度達成率	149.0%		
			最終目標に対する達成率	-		
事務事業の方向性						
C：縮小 引き続き、他のワクチンと同様に、接種を希望する対象者が接種できるよう、個別接種を中心に体制整備を図ります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	本人が意識することなく健康づくりに取り組むことができる環境づくりを意味する「0次予防」の視点を持って、多世代の健康増進を進める必要があります。 また、行政だけでなく、産学民と連携して取り組むことで、効果的な取組となります。
施策の推進に向けた今後の方針	「0次予防」の視点を持って、多世代の健康増進を進めるため、産学、団体等と連携して市民や企業向けの健康増進の取り組みを実施します。 また、健診事業の充実や受診しやすい環境づくりを促進し、受診率の向上を図ります。 介護予防事業では、長寿医療研究センター等と連携して、市民に身近な場所で講座等が受講できるよう進めていきます。

評価結果の公表

施策名 健やかな暮らしを支える連携の強化

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	健やかな暮らしを支える連携の強化
主管部局	福祉部
主管課	高齢障がい支援課
関係課	健康増進課、高齢障がい支援課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	保健・医療・福祉に関わる連携が進み、全ての市民が最期まで「健康都市おおぶ」で暮らしたいと思えるまちになっています。
----	-----------------------------------------------------------

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	33,401	0
(2)事業費	1,096,645	89,764
フルコスト（歳出合計）	1,130,046	89,764
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	9,726	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	22	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	95,626	0
(5)一般財源（市税収入など）	991,271	89,764
歳入合計	1,096,645	89,764

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「かかりつけ医を決めている」市民の割合										単位	%	
											現状値	71.2	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12		
計画値	72.0	72.0	73.0	73.0	74.0	74.0	74.5	74.5	75.0	75.0	75.0		
実績値	64.9	64.9	69.2	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「かかりつけ医を決めている」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	「かかりつけ医を決めている」と回答した市民の割合は上昇していますが、実績値は計画値を下回っています。生活習慣病などの重症化予防や健康管理など、若い世代からかかりつけ医をもつことを周知啓発していく必要があります。												

有効性指標 2

指標名	「幸福感のある」高齢者の割合										単位	%	
											現状値	54.6	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12		
計画値	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0		
実績値	54.3	54.3	53.5	53.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	健康とくらしの調査（知多北部広域連合の日常生活圏域ニーズ調査）で「現在の程度幸せか（10段階）」という設問に対し「8点以上」と答えた高齢者の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	この調査は、日本老年学的評価研究機構により3年に1回行われています（令和4年度調査、次回は令和7年度の予定）。計画値を実績値が下回っており、前回調査時より割合が下がっています。新型コロナウイルス感染拡大の影響があると考えられますが、調査項目として設定されている健康診査数値、サロン参加者数、要介護認定者数などの値が上昇するよう、事業を推進していく必要があります。												

評価結果の公表

施策名 健やかな暮らしを支える連携の強化

有効性指標 3

指標名	在宅（自宅及び老人ホーム）の死亡率										単位	%
											現状値	26.1
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	35.0	
実績値	24.7	34.0	31.5	32.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	愛知県衛生年報で年間の死亡件数における死亡場所が「自宅」又は「老人ホーム」の者の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	前回調査時より割合が上がっており、実績値は計画値を上回っています。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による制限されなくなり、老人ホームの入所などが増加していると考えられます。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
在宅医療介護連携推進事業	高齢障がい支援課	14,606 (14,606)	指標名	在宅療養支援診療所数（在宅医療実施医療機関を含む）	妥当性	A
			単年度計画値	33.0	有効性	A
			単年度実績値	26.0		
			単年度達成率	78.8%		
			最終目標に対する達成率	72.2%	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 将来需要に対応できるよう、在宅医療介護連携を構築する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
介護保険事業	高齢障がい支援課	1,087,671 (1,087,671)	指標名	要介護・要支援認定者数	妥当性	A
			単年度計画値	3,788.0	有効性	A
			単年度実績値	3,577.0		
			単年度達成率	94.4%		
			最終目標に対する達成率	77.2%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 高齢者人口の増加に備え、事業を引き続き推進していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
健康都市推進事業	健康都市スポーツ推進課	30,838 (30,838)	指標名	「健康都市おおぶ」推進会議回数	妥当性	B
			単年度計画値	2.0	有効性	A
			単年度実績値	2.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	100.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プラン」の進捗管理において、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した指標のうち、回復傾向が見られるものもあれば、元に戻っていないものも見られます。一時的な変化か、意識や心身の状態がコロナ以前とは変わってしまったのかを見極め、必要な施策を検討し事業を進めていきます。						

評価結果の公表

施策名 健やかな暮らしを支える連携の強化

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	施策全般にわたって新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がありましたが、制限がなくなり徐々に人の移動や交流が活発化していると考えられます。
施策の推進 に向けた 今後の方針	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による制限がなくなり、徐々に人の移動や交流が活発化していますが、より一層、高齢者の健康増進、社会参加の拡大をすすめる必要があります。

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	安心を支える医療制度の充実
主管部局	福祉部
主管課	保険医療課
関係課	保険医療課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	国の医療制度改正への的確な対応や医療費の適正化などを進めることで、市民が健康上の不安がなく、病気になっても安心して医療を受けることができ、いきいきと暮らせるまちになっています。
----	------------------------------------------------------------------------------------------

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	36,789	0
(2)事業費	7,625,477	851,826
フルコスト（歳出合計）	7,662,266	851,826
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	4,069,830	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	344,892	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	0	0
(5)一般財源（市税収入など）	3,210,755	851,826
歳入合計	7,625,477	851,826

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	1人当たり年間医療費										単位	円	
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	現状値	
計画値	337,504.0	360,513.0	372,757.0	386,715.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		346,210.0
実績値	357,336.0	389,363.0	395,473.0	417,415.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	国民健康保険事業状況報告書（事業年報）における療養給付の費用額 ※「愛知県平均以下」を目標としているため、毎年度、愛知県平均が算出された後、単年度の計画値と実績値を併せて入力する。												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	1人当たり年間医療費は、令和2年度に一時的に減ったものの、過去5年間をみると年4%前後の増加傾向が続いています。愛知県平均は、増加傾向にあるものの増加率は本市より数%低く、本市と愛知県平均との差は広がっています。												

有効性指標 2

指標名	特定保健指導対象者の減少率（国保：平成20年度比）										単位	%	
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	現状値	
計画値	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0	29.0	29.5	29.5	30.0		25.5
実績値	24.1	24.6	27.6	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	$(H20年度特定保健指導対象者推定数 - 該当年度特定保健指導対象者推定数) / H20年度特定保健指導対象者推定数 \times 100$												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	減少率が前年度より3.5%低くなっています。特定健診の受診率、特定保健指導の利用率はいずれも県平均を上回っていますが、特定保健指導を実施した方が翌年度に特定保健指導の対象者でなくなる割合は、県平均を下回っています。（大府市保健事業実施計画より） 特定保健指導の効果を上げることが課題といえます。												

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
障がい者医療費支給事業	保険医療課	251,855 (251,855)	指標名	年間医療費助成額			妥当性	A
			単年度計画値	257,407.0			有効性	A
			単年度実績値	245,330.0			効率性	A
			単年度達成率	95.3%				
			最終目標に対する達成率	-				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 障がい者医療費受給者が安心して生活できるよう、医療費助成を継続実施します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
後期高齢者福祉医療費給付事業	保険医療課	133,361 (133,361)	指標名	年間医療費助成額			妥当性	A
			単年度計画値	162,027.0			有効性	A
			単年度実績値	127,930.0			効率性	A
			単年度達成率	79.0%				
			最終目標に対する達成率	-				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 後期高齢者福祉医療受給者が安心して生活できるよう、医療費助成を継続実施します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
県広域連合負担金事業	保険医療課	729,388 (729,388)	指標名	広域連合負担金			妥当性	A
			単年度計画値	731,489.0			有効性	A
			単年度実績値	728,132.0			効率性	A
			単年度達成率	99.5%				
			最終目標に対する達成率	-				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 高齢者の医療を担う愛知県後期高齢者医療広域連合の円滑な運営のため、継続実施します。								

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
子ども医療費 支給事業	保険医療課	766,256 (766,256)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	671,162.0	有効性	A
			単年度実績値	746,072.0		
			単年度達成率	111.2%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 県の補助は外来は小学生まで、入院は中学生までが対象ですが、共に18歳年度末まで対象を拡大しました。 。高校生分（中学校卒業後）の助成については、入院は負担なし、通院は1割自己負担としていますが、18歳年度末まで全額助成をする自治体が増えています。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
母子家庭等医療費 支給事業	保険医療課	53,752 (53,752)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	51,589.0	有効性	A
			単年度実績値	49,920.0		
			単年度達成率	96.8%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 母子家庭等医療受給者が安心して生活できるよう、医療費助成を継続実施します。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
一般被保険者 療養給付費給 付事業	保険医療課	4,075,183 (4,075,183)	指標名	療養給付費額	妥当性	A
			単年度計画値	4,416.0	有効性	A
			単年度実績値	4,069.8		
			単年度達成率	92.2%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 団塊世代の被保険者の後期高齢者への移行及び、被用者保険の対象者拡大により、被保険者数の減少が見 込まれます。状況の変化を注視しながら適正な医療給付に努めます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
一般被保険者 医療給付費分 納付金負担事 業	保険医療課	1,633,205 (1,633,205)	指標名	医療給付費分納付金	妥当性	A
			単年度計画値	1,632.0	有効性	A
			単年度実績値	1,632.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 納付額の変化に注意を払いながら、医療給付費の納付を行います。						

評価結果の公表

施策名 安心を支える医療制度の充実

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名			
医療費適正化 対策事業	保険医療課	22,617 (22,617)	指標名	医療費通知	妥当性	A
			単年度計画値	57,500.0	有効性	A
			単年度実績値	50,200.0		
			単年度達成率	87.3%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
A：拡大 保健事業実施計画に基づき、被保険者の健康増進と医療費適正化のための保健事業を行います。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名			
後期高齢者医療 広域連合納 付金事業	保険医療課	3,469 (3,469)	指標名	後期高齢者医療広域連合納付金	妥当性	A
			単年度計画値	1,394.0	有効性	A
			単年度実績値	1,342.0		
			単年度達成率	96.3%		
			最終目標に 対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 高齢者の医療を担う愛知県後期高齢者医療広域連合の円滑な運営のため、継続実施します。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	国民健康保険は、被保険者が減少、1人当たり療養給付費は増加という傾向が続いています。後期高齢者医療保険は、被保険者の増加に伴い、県広域連合への納付金が増加傾向にあります。
施策の推進 に向けた 今後の方針	適正な保険給付等を継続する一方で、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の方針等に沿った医療費適正化に努め、負担と給付のバランス調整による持続可能な制度運営をする必要があります。

評価結果の公表

施策名 文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成
主管部局	市民協働部
主管課	文化交流課
関係課	文化交流課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	文化芸術・学習活動を通して、人と人とのつながりを強め、豊かな心を育むとともに、全ての市民が生涯にわたって心身ともに健やかに過ごすことができるまちになっています。
----	----------------------------------------------------------------------------------

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	63,220	0
(2)事業費	795,532	52,458
フルコスト（歳出合計）	858,752	52,458
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	9,214	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	78,882	0
(5)一般財源（市税収入など）	707,436	52,458
歳入合計	795,532	52,458

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「文化芸術活動の環境整備・支援に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	43.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	44.0	44.0	45.0	45.0	46.0	46.0	47.0	47.0	48.0	48.0	50.0		
実績値	46.6	46.6	49.2	49.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「文化芸術活動の環境整備・支援」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	様々な文化芸術活動の環境整備・支援を継続しており、おおむね計画通り推進できていると思われます。												

有効性指標 2

指標名	不読率										単位	%	
											現状値	54.8	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	54.5	54.5	54.0	54.0	53.0	53.0	52.0	52.0	51.0	51.0	50.0		
実績値	58.1	58.1	58.9	58.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「1か月以内に1冊も本を読まなかった」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	ライフスタイルの変化による若年層の読書離れにより、計画値を下回ったと思われます。最新の市民意識調査結果では、10代の不読率が最も高いという結果が出ています。												

評価結果の公表

施策名 文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

有効性指標 3

指標名	「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」市民の割合										単位	%
											現状値	47.9
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	50.0	50.0	51.0	51.0	52.0	52.0	53.0	53.0	54.0	54.0	55.0	
実績値	42.1	42.1	44.0	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」ことに「愛着をもっている」又は「どちらかといえば愛着をもっている」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和4年度の市民意識調査の結果では、前回調査に比べ「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」市民の割合が上昇しましたが、前回調査と同様に、実績値が計画値を下回りました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛や祭り等が開催中止や縮小となり、伝統文化に触れる機会が減少したためと思われます。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
文化芸術支援事業	文化交流課	39,847 (39,847)	指標名	文化活動補助対象事業	妥当性	B
			単年度計画値	18.0	有効性	B
			単年度実績値	11.0		
			単年度達成率	61.1%		
			最終目標に対する達成率	55.0%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後も市民が文化、学習活動に取り組むための様々な支援や事業を実施し、市民と一緒に文化活動の振興を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
愛三文化会館管理事業	文化交流課	326,389 (326,389)	指標名	文化施設の利用率	妥当性	A
			単年度計画値	85.0	有効性	B
			単年度実績値	81.6		
			単年度達成率	96.0%		
			最終目標に対する達成率	96.0%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後も指定管理者による施設管理や事業実施を行い、施設利用者へのサービス向上を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
おおぶ文化交流の杜管理事業	文化交流課	524,247 (524,247)	指標名	文化・学習、市民交流の評価	妥当性	A
			単年度計画値	4.0	有効性	A
			単年度実績値	5.0		
			単年度達成率	125.0%		
			最終目標に対する達成率	125.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後も指定管理者による施設管理や事業実施を行い、施設利用者へのサービス向上を図ります。						

評価結果の公表

施策名 文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
文化財等保存 伝承活用事業	文化交流課	80,424 (80,424)	指標名	文化財補助件数	妥当性	B
			単年度計画値	5.0	有効性	B
			単年度実績値	7.0		
			単年度達成率	140.0%	効率性	B
			最終目標に 対する達成率	140.0%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後も引き続き感染症対策をしつつ、企画展等を実施していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
歴史民俗資料 館管理運営事 業	文化交流課	33,390 (33,390)	指標名	改修工事・修繕、工事設計監理委託件数	妥当性	A
			単年度計画値	1.0	有効性	B
			単年度実績値	2.0		
			単年度達成率	50.0%	効率性	B
			最終目標に 対する達成率	50.0%		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 引き続き、円滑な歴史民俗資料館運営を図るため、各種委託等の実施のほか、開館以来44年経過している施設の適切な維持管理のための改修等を実施していきます。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、ほぼ従来と同等に文化芸術に触れる機会が設けられ、多くの市民参加がありました。「バイオリンの里おおぶ」の推進や音楽関係の事業を積極的に行い、音楽を聴くことのできる機会が以前より増加しています。一方、一部文化活動団体の中では、会員の高齢化に伴う会員数の減少が課題となっており、多方面から支援を行う必要があると捉えています。
施策の推進 に向けた 今後の方針	各年代のライフスタイルや市民ニーズに適応した様々な事業を推進していきます。今ある無形の文化的価値を次世代に継続し、他の事業への波及効果を考慮した事業運営の工夫をしていきます。

評価結果の公表

施策名 豊かで健やかなスポーツライフの創出

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	豊かで健やかなスポーツライフの創出
主管部局	健康未来部
主管課	健康都市スポーツ推進課
関係課	健康都市スポーツ推進課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	子どもから高齢者、障がい者、外国人など、誰もが気軽にスポーツに取り組むことができおり、市民、地域、行政で連携しながらそれぞれのライフスタイルに応じた活動が推進されています。また、スポーツを通して健康づくりや地域とのつながりづくりができるまちになっています。
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	41,692	0
(2)事業費	1,322,155	238,326
フルコスト（歳出合計）	1,363,847	238,326
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	303	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	500,000	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	605,680	14,353
(5)一般財源（市税収入など）	216,172	223,973
歳入合計	1,322,155	238,326

4 「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「週1回以上運動やスポーツに取り組んでいる」市民の割合										単位	%	
											現状値	45.3	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	50.0	50.0	54.0	54.0	58.0	58.0	61.0	61.0	63.0	63.0	65.0		
実績値	44.8	44.8	42.0	42.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査で「週1回以上運動やスポーツに取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	最新の市民意識調査（令和4年度実施）では、実績値が計画値を下回りました。引き続き目標達成に向けて努力をする必要があります。												

有効性指標 2

指標名	スポーツ競技団体の登録者数										単位	人	
											現状値	7,182.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	7,700.0	8,000.0	8,200.0	8,400.0	8,700.0	8,900.0	9,200.0	9,400.0	9,700.0	9,900.0	10,000.0		
実績値	4,944.0	5,313.0	5,873.0	5,761.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の大府市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブOBUEニスポ、大府市とうちゃんソフトボール連絡協議会に所属している会員数の合計												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	とうちゃんソフトボールのチーム数の減少が大きく影響しています。各団体の登録者数増加のため、支援を継続する必要があります。												

評価結果の公表

施策名 豊かで健やかなスポーツライフの創出

有効性指標 3

指標名	スポーツ施設の利用者数										単位	人
											現状値	573,206.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	600,000.0	605,000.0	610,000.0	615,000.0	620,000.0	625,000.0	630,000.0	635,000.0	640,000.0	645,000.0	700,000.0	
実績値	285,211.0	336,268.0	546,387.0	544,468.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点のスポーツ推進課が所管する市内のスポーツ施設（社会体育施設＋学校開放施設）の年間利用者数の合計											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	大府市民球場のリニューアル工事により1年間施設を利用することができませんでしたが、全体の利用者数としては微減にとどまりました。他の施設の利用者数は順調に増加しています。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
生涯スポーツの推進事業	健康都市スポーツ推進課	17,753 (17,753)	指標名	レクリエーションスポーツ大会参加者数	妥当性	B
			単年度計画値	3,400.0	有効性	B
			単年度実績値	2,370.0		
			単年度達成率	69.7%		
			最終目標に対する達成率	59.2%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、大会等の開催数はコロナ前の水準に戻りましたが、参加者数は戻っていません。モルックやeスポーツの普及・定着に取り組むことで参加者数の増加に努めます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
競技スポーツの推進事業	健康都市スポーツ推進課	30,686 (30,686)	指標名	スポーツ大会開催数	妥当性	B
			単年度計画値	110.0	有効性	A
			単年度実績値	110.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	100.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、大会や教室の開催数はコロナ前の水準に戻りました。より多くの方に大会や教室に参加してもらえよう、積極的なPRに努めます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
スポーツ施設整備事業	幼児教育保育課	84,201 (84,201)	指標名	スポーツ施設整備数	妥当性	A
			単年度計画値	3.0	有効性	A
			単年度実績値	3.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 完成から長年が経過した施設が多く、老朽化が目立っています。不具合箇所は早急に修繕するほか、予防修繕についても計画的に取り組めます。						

評価結果の公表

施策名 豊かで健やかなスポーツライフの創出

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	値		
スポーツ施設 運用事業	健康都市スポ ーツ推進課	165,731 (165,731)	スポーツ施設数		妥当性	A
			単年度計画値	31.0	有効性	A
			単年度実績値	30.0		
			単年度達成率	96.8%		
			最終目標に 対する達成率	78.9%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続						
特定の曜日、時間帯で利用の希望が集中することがあり、利用者が希望する日時で施設を利用できないことがあります。施設を効率的に利用できる方法を検討する必要があります。 大府市民球場の運用については、管理や予約の方法に課題が残っているため、利用者の声を聞きながら改善を図る必要があります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、大会・教室等への参加者数や施設の利用者数は増加してきていますが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻っていません。新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控えた方が活動を再開していないことが考えられます。
施策の推進 に向けた 今後の方針	コロナ禍でスポーツ活動をやめた方が活動を再開できるよう積極的に事業を展開するとともに、各スポーツ団体の登録者数が増加するよう団体の支援を継続します。